

たものは、経験や実績などから指定管理者となる団体を限定したほうが、効率的で安定的な管理運営や施策の推進ができると判断をした。

◇関連質問

- ・指定管理者制度の周知について (緑風会)
- ・制度導入に当たっては、市場原理に委ねることなく、慎重な対応を (市民連合)
- ・自治体のあり方と指定管理者制度について (日本共産党)

策 団塊世代の定年に伴う施策 (公明党)

問 団塊世代の大量退職を迎えるが、この退職によって影響を受ける業務上のノウハウ、技術などの伝承については、早い段階からの対策が必要と思つが、取り組みは、また、団塊世代の知識、経験、自己実現意欲などは、社会活動に大きな影響力を持つと考えるが、この力を行政として地域に生かす施策は考えられないか。

答 業務上のノウハウ、技術・技能の継承については、人材育成基本方針に基づき計画的に取り組んできた。急激な職員数の減少には、

必要な採用を行いながら、人事管理、仕事の仕組みづくり、日常的な業務指導、次世代を担う職員の能力向上を図るための職員研修などを通じ、人材育成に努めていく。地域活動への参加は、知識や経験を發揮できるよう、自治会、NPOなどと連携を図る中で取り組んでいく。

観光行政 (新政クラブ)

問 本市の観光振興に当たって、今後ビジョンを策定して市民に公開し、市民とともに取り組んでいく予定はあるのか。

また、福山フィルム・コミッションの状況はどうか。
答 観光振興については、現状と課題を整理し、改めて施策の展開を図るよう取り組んでいかなければならない。ビジョンの策定については、今後検討していく。



福山フィルム・コミッションのホームページより

ればならない。ビジョンの策定については、今後検討していく。

福山フィルム・コミッションについては、本年3月に設立し、ホームページなどで受け入れ体制の充実に努めている。現在、日本テレビ系列のドラマにも撮影協力をしており、今後積極的にPRしていく。

◇関連質問

- ・鞆の観光振興について(緑風会)

競馬事業 (緑風会)

問 第1四半期は黒字だが、売得金の減は避けられない。相次ぐ不祥事の発覚で、今後の振興策の展開が進展しておらず、来年度の予算編成が懸念される。場外発売所の増設やサラブレッド導入などを早期に決定するか、地方競馬の将来性など考慮して廃止か継続かの結論を出す時期では。

答 売得金については、下げ止まりとは言えず依然厳しい状況にある。次年度予算の編成に当たっては、委託料などの開催経費を見直すほか、インターネット銀行と連携した投票システムによる売り上げの増が期待でき、場外発売所の新展開や馬資源を確保するなど、

9月議会の動き

- 8月 31日・議会運営委員会
- 9月 7日・議会運営委員会
- ・本会議(会期の決定、市長提案説明)
- 13日・本会議(代表質疑)
- 14日・本会議(代表質疑)
- 15日・議会運営委員会
- ・本会議(代表質疑)
- ・予算特別委員会設置・付託
- 決算特別委員会設置・付託(決算・予算を除く議案は各常任委員会へ付託)
- ・予算特別委員会(正・副委員長互選)
- ・決算特別委員会(正・副委員長互選)
- 16日・常任委員会(条例案等の審査)
- 20・21日・予算特別委員会(予算案審査)
- 26日・議会運営委員会
- ・本会議(委員長報告)
- 27～29日
- ・企業会計決算特別委員会

※フィルム・コミッション：映画、テレビ、CMなどの映像製作をスムーズに進行させるために便宜を図り、ロケ地のPRや雇用機会の増大、製作にかかわる経済効果、地域振興をねらった機関。